

「食品ロス」について  
一緒に考えてみませんか？

日本では年間で612万トンの食品ロスが発生していると推計されています。  
(平成29年度、国による推計)

国民1人1日当たりには換算すると、お茶碗1杯分のご飯の量に相当します。

※「食品ロス」とは…本来食べられるのに捨てられてしまう食品のこと



家族で学ぶ  
ふくい  
の  
暮らし

食品ロスを減らそう 編



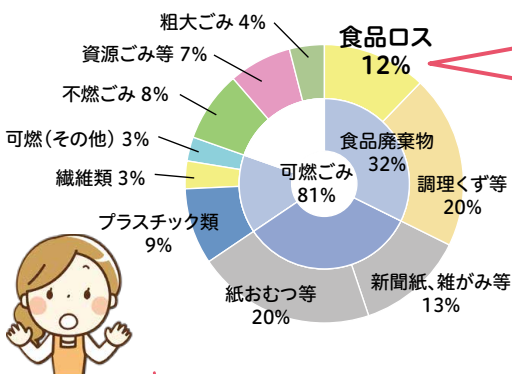
循環社会推進課  
福岡さん

福井県で行った食品ロスの  
調査の結果を知っていますか？

家庭や事業所から出るごみのうち  
食品廃棄物はなんと32%

そのうち食品ロスは**12%**なんです!!

ごみ排出量の内訳 (H30)



食品ロスの内訳

手つかず食品: **5割**

(例・期限切れの粉類、採れすぎた野菜)



食べ残し: **5割**

(例・ごはん、煮物などのおかず)



食品ロスを減らすためには ~家庭での取り組み~

①

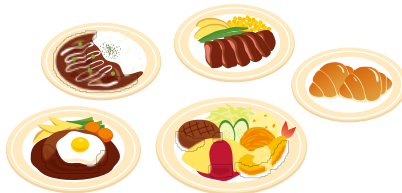
買いすぎに注意して  
必要なものだけ買いましょう

買い物前に  
冷蔵庫を確認



②

作りすぎに注意しましょう



※作りすぎた時は冷凍保存の方法も

③

自分の食べられる  
適量を見つけましょう



※どのくらい食べられるのか  
把握することも大切

食品ロスを減らすことは環境、家計、子どもの食育にもメリットがあります。食べ物をつくるには、たくさんの水、電気、火などのエネルギーが必要です。エネルギーをつくる際には地球温暖化の原因となる二酸化炭素が排出されています。食品ロスを減らすことで、これらの水や二酸化炭素の量を減らすこととなり、結果として地球環境に繋がるのです。



みんなで「おいしいふくい食べきり運動」に参加して食品ロスを減らしましょう!

おいしいふくい食べきり運動 🔍 検索

